

国語科

学年	観点	授業改善プラン
1年		①ねらいを明確にした授業を行う。また、そのねらいを生徒の実態に合わせたものとする。話す、聞く、書く、読むそれぞれの課題に丁寧な取り組みを行う。 ②話し合い活動をすすめる。課題に対し、能動的に解決を図る力を養う。発表活動を充実させる。 ③限られた時間の中で課題を完成させられる意識を養う。誤字脱字をなくし、文字を丁寧に書くことを重点的に指導する。 ④作者の意図を読み取り、その表現を読み取る練習を行う。内容を大まかにつかむ練習、問題提起、結論のつながりを構造的に理解する練習を積み重ねる。 ⑤漢字について、漢字検定5級程度の合格を目指した指導を行う。
2年	①国語に関する関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力	①標語、俳句、短歌の創作に意欲的に取り組んでいく。生徒の朗読と、それを聞き取ったメモをとることを授業の導入段階で取り入れる。 ②朗読、スピーチ、意見文発表を計画的に取り入れ、発表の機会を充実させる。 ③限られた時間内で課題についてまとめ、推敲するまでの力を養う。 ④読書指導、図書館指導を授業内に取り入れる。新聞学習への挑戦を行う。 ⑤言葉のきまり、漢字の繰り返し練習を行い、日常生活で活用できる力を養う。
3年	⑤言語に対する知識・理解・技能	①ねらいを明確にした授業を行う。また、そのねらいを生徒の実態に合わせたものとする。話す、聞く、書く、読むそれぞれの課題に丁寧な取り組みを行う。授業では対話的で深い学びを目指し、課題を工夫して与える。 ②話し合い活動を継続していく。討論、発表活動を可能な限り充実させ、表現能力を向上させる。 ③限られた時間の中で課題を完成させられる意識を養う。誤字脱字をなくし、文字を丁寧に書くことを重点的に指導する。200～300字程度の短い作文を10～20分で書き上げる練習を繰り返す。 ④作者の意図を読み取り、その表現を読み取る練習を行う。内容を大まかにつかむ練習、問題提起、結論のつながりを構造的に理解する練習を積み重ねる。 ⑤漢字コンテストでは、漢字検定3級程度の漢字能力を定着させる。

社会科

学年	観点	授業改善プラン
1年		①基礎、基本的事項の徹底を図れるように、発問や作業を増やす。 ②思考力、表現力の向上に向けた自分の考えを明らかにする場面を増やす。 また、「なぜそのように考えたか」を発表させる機会を増やす。 ③アクティブボードを活用し、提示するグラフ等の読み取り練習の機会を増やす。 ④復習確認テストなどを單元ごとに行い、継続的に知識の定着を図る。
2年	①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・能力 ③資料活用の技能 ④社会的事象についての知識・理解	①課題意識をもたせる発問を多く行い、ワークシートで問題解決的な学習を取り入れる。 ②複数の事象の関連性を掴ませつつ、短文でまとめる活動や自分の考えを記入させる機会を設ける。また、それをことばで表現する活動を取り入れる。 ③図表の読み取り、取捨選択のほか、レポート作成、調べる学習コンクールへの応募を通し、図表を作成し、紙面にまとめる活動を行う。 ④反復して書いて覚える作業を取り入れるとともに、授業内で小テストを実施し、基本用語の定着を図る。
3年		①課題意識を持たせる発問を増やし、ワークシートで随時問題解決的な学習を導入する。また、期間指導を行いながらつまづいている生徒へのフォローを行う。 ②複数の事象の関連性をつかませつつ、短文でまとめる活動や自分の考えを記入させる機会を設ける。また、それをことばで表現する活動を取り入れる。 ③図表の読み取り、取捨選択の他、レポート作成、調べる学習コンクールへの応募を通し、図表を作成し、紙面にまとめる活動を行う。また、簡単なグラフや表を作成する活動を取り入れる。 ④反復して書いて覚える作業を取り入れるとともに、授業内で小テストを実施し、基本用語の定着を図る。

数学科

学年	観点	授業改善プラン
1年		①計算の基礎基本を丁寧に指導し、考えたり活動したりする時間を多く確保する。 ②類題問題を繰り返すことにより、「できる」体験を積み重ねる。また、自分の解き方や考え方を他者に説明する機会を設け、表現力の育成を図る。 ③計算コンテスト等、反復練習を多く取り入れる。 ④知識を問う問題を多く取り入れる。数学用語等、理解に必要な知識を繰り返し行う。
2年	①数学への関心・意欲・態度 ②数学的な思考・判断・能力 ③数学的な技能 ④数量、図形などについての知識・理解	①計算の基本となる知識を養う練習を多く取り入れる。また、アクティブラーニングの時間を多く取り入れ、生徒自身の活動を増やしていく。 ②類題問題を繰り返すことにより、知識の定着をはかる。また、自分の解き方や考え方を他者に説明する機会を設け、表現力の育成を図る。 ③基礎的な問題を扱った計算コンテストや、問題集、プリントを活用し、多くの問題に取り組ませる機会を設ける。 ④知識を問う問題を多く取り入れ、大切なことは繰り返し何度も説明をする。
3年		①生徒同士が聞きあえる時間を多く確保する。また、単元の復習の段階で理解のあいまいな部分を取り上げ、知識の定着を図る。 ②定義のもつ意味を踏まえ、説明の元となることがらやつながりを考えさせる機会を設ける。また、文字式の立式に重点を置き、式の構造の理解や表現を定着させる作業を重視する。 ③基礎的な練習量を増やすために、定期的な計算コンテストを実施する。計算の仕方や証明の流れ等を、教科書に出てくる用語で説明できることを重要視する。 ④図形などの値を求める問題では、類題の繰り返した演習を多く扱う。

理科

学年	観点	授業改善プラン
1年	①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・判断・能力 ③観察・実験の技能 ④自然事象についての知識・理解	①ねらいを明確にした授業を行う。生徒の発言を多く取り上げ、意欲的に参加できるようにする。 ②観察・実験後に作成させる考察を取り入れ、班での話し合いをもとに発表させる機会を多く取り入れ、思考力・表現力を養う。 ③実験中の変化・反応に注目させるとともに、スケッチなどに必要な技能のポイントを丁寧に指導していく。 ④小单元ごとに問題演習や小テストを実施する。また、現象を自分のことばで説明させる機会をつくり、本質の理解を目指す。
2年		①生徒の発言を多く取り上げ、意欲的に参加できるようにする。 ②実験の導入段階や、実験中に生徒が科学的視点から観察できるような発問を工夫する。 ③実験においては、そのポイントを丁寧に確認することで、生徒の円滑的な作業を支える。 ④小单元ごとに問題演習や教え合い、小テストを実施し、基礎学力の向上を図る。
3年		①ねらいを明確にした授業を行う。生徒の発言を多く取り上げ、意欲的に参加できるようにする。 ②観察・実験後に作成させる考察を取り入れ、班での話し合いをもとに発表させる機会を多く取り入れ、思考力・表現力を養う。 ③実験中の変化・反応に注目させ、生徒自らが気付くような展開と発問を工夫する。 ④小单元ごとに問題演習や小テストを実施する。また、現象を自分のことばで説明させる機会をつくり、本質の理解を目指す。

音楽科

学年	観点	授業改善プラン
1年	①音楽への関心・意欲・態度 ②音楽的な感受や表現の工夫 ③表現の技能 ④鑑賞の能力	①「ねらい」を明確にし、授業の終わりにはねらいがどの程度達成できたかの振り返りを行う。 ②強弱の変化やハーモニー、声部の役割を知覚感受できるように、ことがらを視覚的にイメージさせる機会を多く設ける。 ③発声の練習前に呼吸法を取り入れ、腹式呼吸の使い方と効果を丁寧に説明する。 ④発問やワークシートの工夫を行い、表現においては、キーワードとなる言葉をあらかじめ掲示する。また、生徒の思考を共有できる機会を増やす。
2年		①ペア活動による発声練習を取り入れ、互いの声を聞き合う活動を通し、発生における抵抗感を減らしていく。音楽記号や用語の説明を丁寧に行う。 ②生徒が持っている思いや意図を引き出し、共有できる機会を増やす。 ③発声練習の時間を十分に取り入れ、計画的に歌唱の技能を高め、そこで得た知識を器楽における技能とつなげる取り組みを行う。 ④ことばの材料をあらかじめ伝え、視点を明確にしたワークシートを取り入れる。
3年		①毎時間の「ねらい」を明確にし、達成カードに記録することを積み重ねる。また、パート練習、クラスの雰囲気づくりを円滑に行う環境をつくる。 ②歌詞の内容を感じ取り、曲にふさわしい表現の工夫を具体的に考え、自らのことばで表現する機会を設ける。 ③楽典に関しては、表現活動に合わせた理解を進める。 ④自ら演奏する曲や、それに関わる曲を鑑賞し、曲の背景や成り立ちを理解して表現活動に生かせる活動を設ける。

美術科

学年	観点	授業改善プラン
1年		<p>①集中力や丁寧さが作品の進捗と質を上げることを具体例で示す。</p> <p>②身近な参考作品に触れさせ、グループ机にすることで互いの良さや表現の多様化を実感できるようにする。</p> <p>③用具の使い方や応用方法を実演する。美術への興味関心や意識を高める。</p> <p>④作者の思いや制作の目的について、自分の感想をワークシート等に表現させる機会を増やす。また、同時に他者の感想も示し、理解できるようにする。</p>
2年	<p>①音楽への関心・意欲・態度</p> <p>②音楽的な感受や表現の工夫</p> <p>③表現の技能</p> <p>④鑑賞の能力</p>	<p>①新しい教材への意識を高め、達成感を味わえるようにする。</p> <p>②考え方のヒントを与え、試行錯誤に時間をかける。参考作品をもとに美しい構成を具体的に示していく。</p> <p>③実演で示し、練習を重ね、時間をかけることによって、丁寧な作業を促し、表現技能を高める。</p> <p>④参考作品や友達作品から自分にはない良さを認め、視野を広げたり、相互理解を深める。</p>
3年		<p>①制作活動時の集中力と、課題を期限までに仕上げることの大切さを繰り返し説く。</p> <p>②混色ノートを活用し、実際の色を比較したり、重ねたりする。何度でもやり直せるワークシートを用い、制作のヒントや条件を具体的に与えて表現しやすくする。</p> <p>③色の作り方を実演する。できるだけ至近距離で解説をしてみせる。</p> <p>④副読本だけでなく、視覚に訴える映像や画像を利用し、学習内容の定着を図る。</p>

保健体育科

学年	観点	授業改善プラン
1年		<ul style="list-style-type: none"> ①体育係の号令による自立的な動きをつくる。全体の場面で、声を出しやすい環境を整える。 ②ペアやグループ活動で意見交換の場を設定し、多面的な評価を得られるようにする。学習カードを通して、学習の経過と今の力を把握させ、課題を明確にして取り組めるようにする。 ③スポーツテストに向けた取り組みや、体力向上を目的としたトレーニングの充実を図る。 ④運動特性、発育急進期や発育発達の個人差を体育分野の学習で確認しながら学習を進める。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ①運動や健康・安全への関心・意欲・態度 ②運動や健康・安全についての思考・判断 ③運動の技能 ④運動や健康・安全について知識・ 	<ul style="list-style-type: none"> ①スモールステップの課題設定と「つまづき」を大切な場面して考えられる環境をつくる。 ②課題の発表や自由記述の学習カードを通じ、多面的な課題の発見を促す。個人の振り返りをグループで意見交換できる場を増やし、積極的に取り組めるようにする。 ③スポーツテストに向けた取り組みや、体力向上を目的としたトレーニングの充実を図る。 ④発育急進期や発育発達の個人差に配慮しながら、事柄や状態、構造をことばで説明したり、話し合い、課題解決を図ることができるようにする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 理解 	<ul style="list-style-type: none"> ①スモールステップの課題設定と「つまづき」を大切な場面して考えられる環境をつくる。 ②ペアやグループで互いに分析し、伝え合う場面を設定する。グループで課題解決への計画、実践、振り返りを行い、主体的に取り組めるようにする。 ③スポーツテストに向けた取り組みや、体力向上を目的としたトレーニングの充実を図る。 ④発育急進期や発育発達の個人差に配慮しながら、事柄や状態、構造をことばで説明したり、話し合い、課題解決を図ることができるようにする。

技術・家庭科

学年	観点	授業改善プラン
1年		<p>①【技術】内容・目標・目指すものを明らかにする。【家庭】観察や実験をノートやワークにまとめ、発表させ、関心・意欲を高める。</p> <p>②【技術】失敗例から工夫すべき点を見つけようとする場を設定する。【家庭】考えを整理し、発表し合う場を増やし、工夫・創造する力を互いに高めていく。</p> <p>③【技術】制作道具・道具の使い方の互点検を行う。【家庭】課題学習や実習を通して技能を伸ばす機会を増やす。</p> <p>④【技術】実験・体験を通して確かな力を養う。【家庭】体験学習を通して知識の理解や表現力、思考力を向上させる。また、生活に生かせる力とする。</p>
2年	<p>①生活や技術への関心・意欲・態度</p> <p>②生活を工夫し創造する能力</p> <p>③技能</p> <p>④生活や技術についての知識・理解</p>	<p>①【技術】内容・目標・目指すものを明らかにする。【家庭】観察や実験をノートやワークにまとめ、発表させ、関心・意欲を高める。</p> <p>②【技術】失敗例から工夫すべき点を見つけようとする場を設定する。【家庭】レポートやワークシートをもとに話し合ったり発表し合う場を増やし、工夫・創造する力を互いに高めていく。</p> <p>③【技術】作業要素ごとに練習問題を用意する。【家庭】課題学習や実習を通して技能を伸ばす機会を増やす。</p> <p>④【技術】実験・体験を通して確かな力を養う。【家庭】習得した知識や技術を復習する機会を多くし、確実な技術力として定着を図る。</p>
3年		<p>①【技術】内容・目標・目指すものを明らかにする。【家庭】観察や実験をノートやワークにまとめ、発表させ、関心・意欲を高める。</p> <p>②【技術】多面的に考えられるような資料や最新の技術を紹介する。【家庭】調べ学習や体験学習レポートを作成することを通し、表現力や思考力、想像力を高めさせる工夫をする。</p> <p>③【技術】作業要素ごとに練習問題を用意する。【家庭】体験学習や調べ学習のレポート作成や発表、幼児に関わるものを製作し、鑑賞する機会を設定する。</p> <p>④【技術】実験・体験を通して確かな力を養う。【家庭】体験学習を通して知識の理解や表現力、思考力を向上させる。また、生活に生かせる力とする。</p>

英語科

学年	観点	授業改善プラン
1年		<p>①授業をなるべく英語で進め、コミュニケーションをとる機会を多く設ける。毎月100文を目安に英文を書く課題を課していく。</p> <p>②初歩的な英語を用いて自分のことを表現できるようにする。少人数の特性を生かし、ALTとも協力して重点的に指導する。</p> <p>③1学年終了時に80%以上の生徒が英語検定5級以上の取得を目指す。</p> <p>④毎回の授業で副教材のビンゴを使用し、英単語のインプットを増やす。スペリングコンテストを通し、書ける英単語の数を増やす。</p>
2年	<p>①国語に関する関心・意欲・態度</p> <p>②話す・聞く能力</p> <p>③書く能力</p> <p>④読む能力</p> <p>⑤言語に対する知識・理解・技能</p>	<p>①授業をなるべく英語で進め、コミュニケーションをとる機会を多く設ける。</p> <p>②初歩的な英語を活用して自分のことを表現できるようにする。文と文や内容のつながりに留意して表現できるようにする。少人数の特性を生かした授業を行う。</p> <p>③2学年終了時に70%以上の生徒が英語検定4級以上の取得を目指す。</p> <p>④月1回のスペリングコンテストを実施し、計画的に語彙数を増やす。復習する機会を多く設ける。</p>
3年		<p>①英語を使って授業に挑ませる。教室で使える便利な表現を紹介していく。学び合いの機会も設ける。</p> <p>②「話したこと」を「書ける」ようにする。自分でテーマを設定して英語で表現する力を高めることができるようにする。</p> <p>③中学校卒業時に英語検定3級以上の英語力が身に付くようにする。既習の文法の復習を行い、基礎学力の定着を図る。</p> <p>④学期に1回のスペリングコンテストスペシャル、レッスンごとのスペリングおよび英作文小テストを実施する。計画的に語彙数を増やしたり、文構造の知識を高める。</p>

特別支援学級

学年	観点	授業改善プラン
1年 2年 3年	①心情理解を意識させた物語の読み取りを行う ②自己肯定感を高める ③書く作業	①生徒の実態に合わせた単元の設定を行う。視覚教材の共有化を行う。物語の情景や出来事を理解することで、心情理解へつなげていく。また、物語の心情理解を実生活に置き換えていく。「ニコニコ」「うなずく」などというキーワードを意識して取り上げる。 ②話し合い活動を工夫する。他生徒を褒めるところから話し合い活動を始める。グループ学習を中心に行い、小集団の中で話し合いをするスキルを身に付ける。 ③毎日の日課表の中に日記とテーマ作文（短文）を設定する。自分の考えを入れられるテーマを設定していく。